

# 3

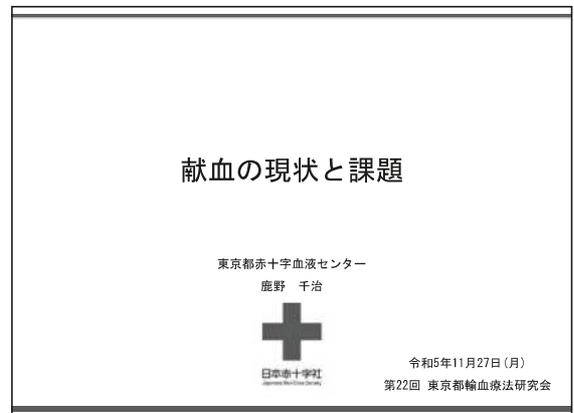
## 献血セミナー

### 献血の現状と課題

東京都赤十字血液センター  
鹿野 千治

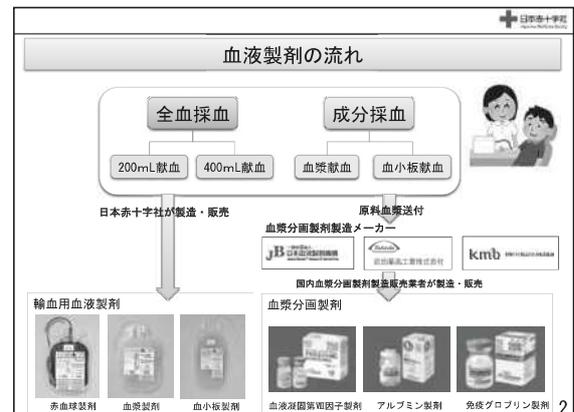
#### 【スライド1】

皆さん、こんにちは。ただ今ご紹介いただきました、東京都赤十字血液センターの鹿野と申します。まず初めに、このような貴重なお時間をいただきまして、関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。私からは「献血の現状と課題」について、ご説明をさせていただきます。



#### 【スライド2】

皆さんご承知のとおり、血液製剤の流れですけれども、左側の上段にございまして、全血採血については200ミリリットル献血または400ミリリットル献血、右側の成分献血については、血漿献血、血小板献血。左下段にあるとおり、輸血用血液製剤につきましては日本赤十字社が製造・販売をしているという状況でして、右側の原料血漿につきましては血漿分画製剤メーカー3社が製造・販売をしているといった状況でございます。



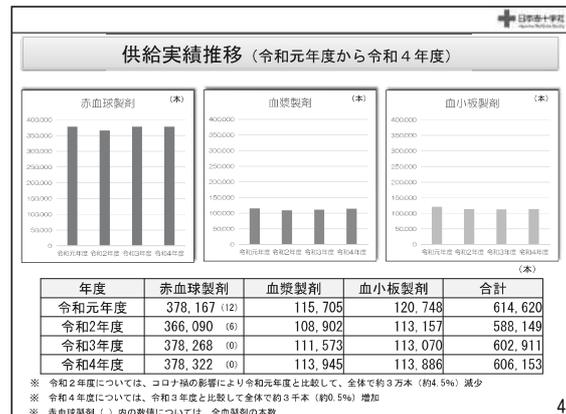
【スライド3】

昨年度の東京都赤十字血液センターでの医療機関への供給量ですけれども、供給本数としては60万本、赤血球製剤で38万本、血漿製剤で11万本、血小板製剤で11万本という状況でございます。また、事業所・学校、献血ルーム等により献血により受け入れられた献血者については約57万人の状況でございます。献血により受け入れた血液量につきましては25.2万リットル、輸血用血液製剤で約11.8万リットル、血漿分画製剤で13.4万リットルの状況でございます。



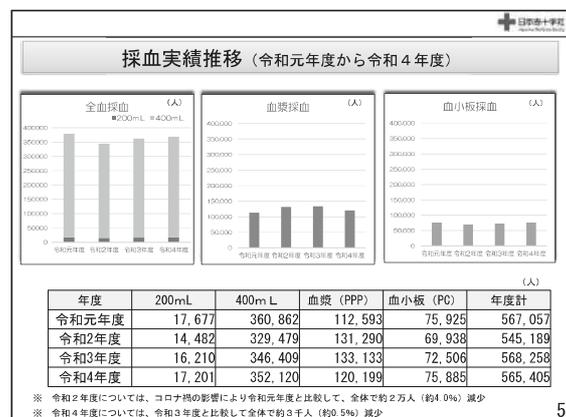
こちらが供給実績の令和元年度から4年度までの約4年間をお示ししたものですけれども、右側の合計欄をご覧くださいと思いますが、令和2年度につきましては58万8,149本で、令和元年度と比較しましても、コロナ禍の影響によりまして約3万本ほど減少している状況でございます。また、令和4年度、昨年度につきましては、前年度と比較しまして3,000本増え、ほぼ100%というような状況で推移している状況でございます。

【スライド4】



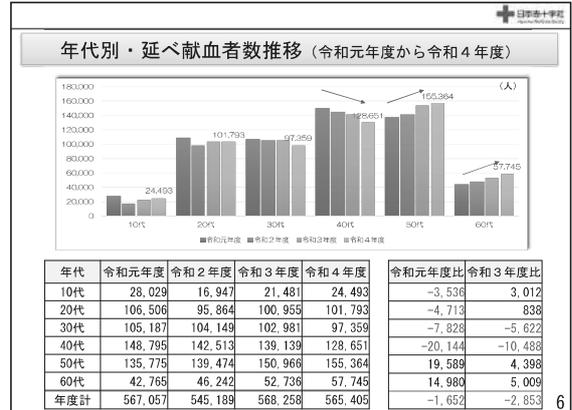
次の採血実績になります。こちらも同様で、右側下段の合計欄をご覧くださいと思うのですが、令和2年度につきましては供給と同様、コロナ禍の影響によりまして、令和元年度と比較しても約2万人の方々が減少している状況です。昨年度の令和4年度につきましては、令和3年度と比較して3,000人ほど減少しており、ほぼ100%に近い協力をいただいた状況でございます。

【スライド5】



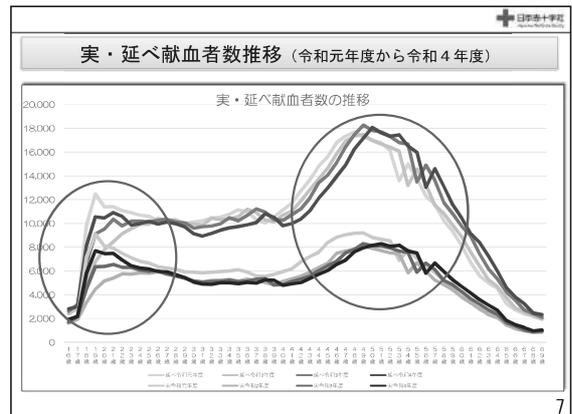
【スライド6】

こちらが年代別の延べ献血者数の推移でございます。右側の令和元年度と令和4年度と比較しますと、ご覧のとおり、10代から40代まで減少しており、かなり40代の減少が大きく目立っている状況です。一方で50代、60代につきましては増加傾向にあるという状況でございます。さらに昨年、一昨年度の令和3年度と比較しますと、10代、20代は増加傾向にあり、30代、40代は減少と、特に40代の減少が大きく目立っている状況でございます。



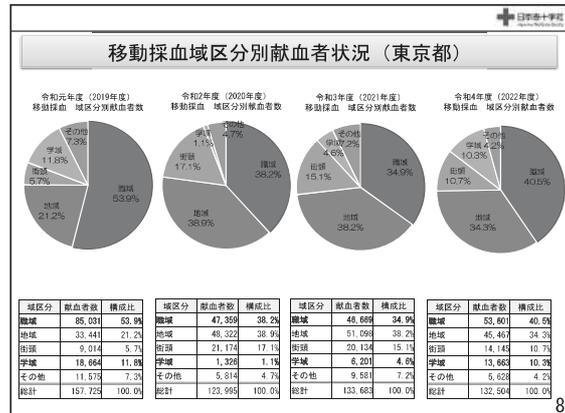
【スライド7】

こちらが、上段の折れ線グラフは延べ献血者数、下段が実献血者数の折れ線グラフと各世代別の状況でございます。円で囲っておりますけれども、左側の16歳から25歳ぐらいまでの年代層については年々減少傾向にある状況で、右側の40代後半から50代、60代にかけては増加傾向にある状況でございます。下段の実献血者数の折れ線グラフから延べ献血者数の折れ線グラフは、かなり40代から50代は高い状況ではございますが、こちらは1人当たりの献血回数がほぼ2回以上ご協力をいただいている状況でございます。



【スライド8】

次に移動採血の域区分別の献血者の状況でございます。左側がコロナ前の令和元年度の状況になります。円グラフでお示ししているとおり、職域については全体の53.9%のご協力をいただいている状況でございますけれども、コロナ禍であります令和2年度、3年度につきましてはほぼ38%、34.9%と、かなり減少している状況でございます。いわゆる企業献血が減少しているといった状況が、これで見て取れるかと思えます。



昨年度の令和4年度、一番右側ですけれども、40.5%で、ある程度回復してきておりますが、コロナ前にはまだ戻っていないのが現状でございます。また、学域献血の状況ですが、左側の令和元年度については全体の11.8%のご協力をいただいております、令和2年度、3年度はほぼ1.1%、4.6%と、協力が少ない状況でございました。いわゆる学校献血が実施できていない状況が進んでいたという状況です。昨年度の令和4年度につきましては、現在10.3%という状況でして、今年度についてもそれ以上の献血にご協力をいただいている状況でございます。

【スライド9】

このような状況を踏まえまして、献血Web会員サービス「ラブラッド」というものを活用しまして、ウェブ上で献血にご協力をいただき進めている状況でございます。今年度、10月末のラブラッドの会員数は約61万人、献血の事前予約をいただき、献血にご協力いただいている方々が約52%の状況でございます。また、この機能にはプレ会員という登録制度を用いまして、献血年齢に達していない方々にも登録をいただいて、献血の年齢に達した際に献血へ導くということも進めている状況でございます。いろいろな献血セミナーを通して、ご協力、ご登録をいただいて進めている状況でございます。

